

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2020年12月
第43号
(年4回発行)

新年号

発行部数3千部



住職インタビュー「大晦日とお正月」

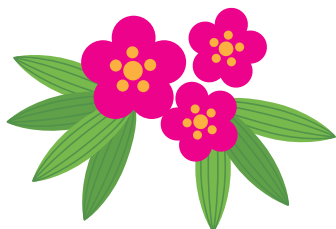
シリーズ浄土宗／仏像の種類

実践教室／仏壇のお飾り

七福神めぐりウォーキング (新年開運七草粥の会) ご案内

厄払い節分会法要のご案内

丹羽住職インタビュー 大晦日とお正月



大晦日とは、 1年の最後の日のこと

晦日は「月の末日」のことで、「三十日」とも書きます。「大晦日」は1年に一度の特別な末日なので「大」をつけて「大晦日」と言います。大晦日は、旧年を除き去るという意味から「除日」とも言われていました。その除日の夜なので十二月三十一日の夜を除夜と言うようになりました。

一年の幸せを祈願する修正会

大晦日の夜に除夜の鐘をつき煩惱を除き、新しい年のはじめにあたり、天下泰平や人々の幸福を祈って行う法要が修正会です。「修正」とは正月に修する法要の意味で起源は中国の年始の儀式にあるとされ日本では平安時代以降から広く行われるようになりました。浄土宗では「天和順」ではじまる『無量寿経』の一節がよまれます。

問 2020年は振り返ってみると、新型コロナウイルス感染拡大防止対策によって世の中が一時停止してしまつたように、空白の時期があつて一年が短く感じました。お寺でも行事の規模を縮小したり延期や中止になったものもあつたそうですね。

住職 はい。うちのお寺でも前回お話ししたように施餓鬼会はお寺と総代さん数名で営んだり、京都の知恩院では、国宝となつている御影堂の修復が終わり落慶法要の団参(団体参拝)も計画されていましたが状況を踏まえ来年に持ち越しになりました。ただ現在の状況だとどのような形になるか…。

問 年末年始は初詣など人の集まる機会が増えますし生活スタイルが変わつたことで行事の在り方も考えさせられますね。

住職 そうですね。ただ「ハレとケ」のハレの日である正月行事は日本人にとっては欠かせないものですから、無くすことはできませんが一人ひとりが気を付けて工夫しながら行うことができれば良いと思います。

ハレ(晴れ)は儀礼や祭、年中行事などの「非日常」、ケ(鬱)

は普段の生活である「日常」のことですが、その切り替えて気持ちのリセットができるのではないのでしょうか。もともとハレは、折り目・節目を指す概念なのです。ハレの語源は「晴れ」で、「晴れの舞台」や、「晴れ着」などそれです。年の節目である大晦日と元日も新年が良い年であるようにと思ひますよね。

問 なるほど。「晴れ晴れとした気持ち」などもそれに通じるものがありそうですね。節目と言えば、節分もそうですが、西願寺の年中行事である七草粥の会や節分会法要は行われるのでしょうか？

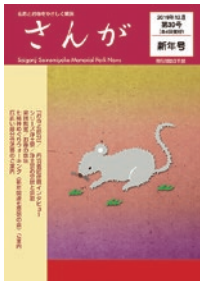
住職 はい。どちらも屋外での行事ですし時間や人との距離に注意しながら行う予定です。

問 毎年、楽しみにしていらつしやる方は喜ばれますね。ところで来年は丑年ですが、「さんが」創刊号の表紙を見たら丑の絵でした。創刊から十二年、十二支が一回りしていたことに驚きました。

住職 もうそんなことになるのですね。有難いことです。その間には、本堂を新しく整えたり、お月見コンサートや七福神巡りウォーキング、豆まきなど檀家さんに限らず地域の人も参加できるイベントなどでもできるようにしました。

本来のお寺の役割である集える場所に近づけたと思います。今後も長く続けていけるようにしていきたいと考えています。

問 「さんが」創刊当時に、今後やりたい事として話されていたことを実現し継続していらつしやるのですね。「さんが」も初心にかえり新たな一年を迎え努力したいと思います。本日はありがとうございます。新年もよろしくお願ひ致します。



仏像の種類

寺院を参拝すると様々な仏像に出会うことができます。浄土宗の寺院である西願寺では、ご本尊である阿弥陀如来像、その脇侍として右に観世音菩薩像、左に勢至菩薩像の弥陀三尊が祀られています。仏像は、大きく分けると「如来像」「菩薩像」「明王像」「天部像」の四種類。それぞれの違いがあるので、



毘盧舎那仏／東大寺



虚空蔵菩薩
(菩薩像／東大寺)



多聞天
(天部像／東大寺)

【如来像】

如来は、「真理を悟った者」の意です。最も尊い仏とされ悟りを開いた仏が如来です。釈迦如来、阿弥陀如来、薬師如来、毘盧遮那仏、大日如来があり、その姿は釈迦族の王子であったゴータマ・シッダールタ²が一切の虚飾を排して出家した姿をモデルとしているため服装は、衲衣³を纏⁴っているだけで装飾品はつけておらず簡素な姿で表されています。
(※大日如来は装飾品をつけています。)

【菩薩像】

菩薩とは悟りを求めて修行するものを意味し如来を補佐する役割です。あらゆる願いを叶えてくれる観世音菩薩や、人々の苦しみを代わりに受けると言われている地藏菩薩は私たちにも親しみやすい菩薩として広く知られています。

観世音菩薩、弥勒菩薩、普賢菩薩、文殊菩薩など、姿の特徴は如来像と違い、出家前のお釈迦様をモデルとしている為、冠や様々な装飾具を身に着け華やかな姿をしています。

【明王像】

如来の教えに従わないものたちを教え、導く役割をもつとされる明王は、7世紀の半ば頃、インドで密教が成立するとヒンドゥー教の神々が仏教に取り入れられ、それが明王になったと考えられています。服装は菩薩とほぼ同じですが、宝剣などの武器を持ち宝冠は被っていません。

【天部像】

天部は、仏教よりもはるか以前につくられたインドの神話に登場する神々が仏教に組み込まれて、仏法の守り神になったとされています。なかでも最高位の梵天と帝釈天は釈迦の生前から修行を助けたとされ護法善神として二神一対の像として祀られることが多いです。甲冑をつけ兜をかぶり武器を手をしている「神将」と中国貴族のような服装をした「貴顕天部」に大別されます。吉祥天や弁財天などの女神もいて種類、姿、性格も様々です。

仏壇のお飾り

日頃から仏壇のお掃除をしている家庭でも、新年を迎える前に正しく仏壇のお飾りがされているかをもう一度確認してみよう。



お飾りの基本

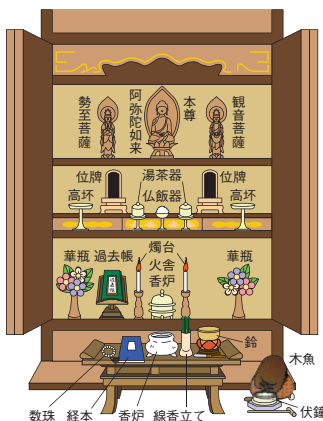
基本となる仏具は、中段や下段に祀る、ろうそくを立てる燭台、花を飾る華瓶、香をたくあるいは線香を立てる香炉の三つです。これを「三具足」といい、香炉の左右に燭台と華瓶を一對ずつ置いたものを「五具足」と呼びます。浄土宗では、五具足に前香炉と線香立てを加えて七具足ともいいます。

浄土宗の仏壇のお飾り

仏壇の上段に本尊の阿彌陀如来を中央に、脇侍として左右に勢至菩薩と観音菩薩、あるいは法然上人と善導大師の祖師像を祀ります。

位牌は、一段下がった左右の脇壇または中段に安置します。位牌が一つの

場合は向かって右側に、二つのときは、仏壇では同じ高さの場合、向かって右が上座となるので、右に古いもの左に新しいものを置き茶湯と仏飯を供えます。中段や下段に基本となる仏具を、前机には経本やリンを置きます。木魚や伏鐘があれば、経机の右下に置きます。



仏具の手入れ

仏具は種類も多く、素材もそれぞれ違います。塗りの仏具はシリコンクロスや綿布などやわらかい布で乾拭きします。真鍮の仏具も布巾で拭き取ります。真鍮磨きや専用の洗剤を使えば光沢が無くなったものも輝きを取り戻せます。香炉は、線香の燃えカスなどで灰が汚れているときは灰ふるいを使って灰の手入れをします。

暮らしの中の 仏教語

「善哉」【ぜんざい】

「似ているけれど違うもの」世の中には沢山ありますよね。冬になると食べなくなるぜんざいとお汁粉もその一つ。いろいろと言われているようですが「これこそぜんざい!」という定義がはっきりしないので調べる程に混乱します。さて、この「ぜんざい」ですが漢字で書くと「善哉」となります。語源の由来は諸説ありますが、もとは仏教語とも言われています。

仏典に出てくる善哉の言葉は、「善哉、善哉」と二度繰り返して使われることが多く、漢字から読み取れるとおり「すばらしい」とか「実に良い」という意味で用いられます。

それがあの甘い善哉になったのは、一説によると一休禅師が初めて食べたぜんざいの美味しさに「善哉此汁」と言ったことからとか…。



新年は、清々しくきれいになった我が家の仏壇で、まず一番に家族揃って初詣をしたいですね。

遊馬・柳島 七福神めぐりウォーキング (新年開運七草粥の会)のご案内

毎年恒例となった新年開運七草粥の会。7か所の寺社を巡るコースです。ゴールの西願寺では、開運七草粥が振舞われ、記念品が手渡されます。お気軽にご参加ください。



日 時 令和3年1月7日(木)
※午前10時から昼12時の時間内で
巡っていただきます。

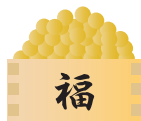
参加費 100円 (※保険料として)



厄払い節分会法要 (豆まき)のご案内

日時 令和3年2月2日(火)

10:00 受付
10:30 節分会法要
11:30 豆まき



令和3年度に前厄・本厄・後厄にあたる善男善女の方は是非お申込みください。

冥加料 10,000円 (祈祷料/会食)

※尚、豆まきのみのご参加は、浄財としてお賽銭(灯明料)をお願いいたします。

季節の雑学

除夜の鐘

除夜とは徐日の夜のことで、一年の一番最後の日である大晦日の夜を言います。「除」には古いものを捨てて新しいものに移るという意味があり、毎年、大晦日の夜には除夜の鐘を聞きながら過ぎた一年を反省し、新しい一年に期待を膨らませます。

さて、除夜の鐘と言えば百八の煩悩を表しているというのはいまにも有名な話ですが、この百八の数え方にはいろいろな説があります。

その一つが、感覚と心の「六根(眼・耳・鼻・舌・身・意)」と六根によって感じ、思慮する対象の「六塵(色・声・香・味・触・法)」、六根、六塵それぞれに「好・悪・平(好悪のどちらでもない)」の三つがあり $6 \times 3 = 18$ 。さらにそれらに「染・浄」の二つがあるので $18 \times 2 = 36$ 。そこに「前世・今生・来世」の3種類があり $36 \times 3 = 108$ となるという説。

また、百八つは一年を意味しているとも考えられ、そこでは「十二か月、二十四節季、七十二候」($12 + 24 + 72 = 108$)を象徴しているとされています。



お問合せ 西願寺 TEL. 048-925-1723 FAX. 048-925-1789

掲 示 板

彩の都メモリアルパーク管理事務所 年末年始休業のお知らせ

◆年末年始休業日◆

令和2年12月29日(火)～

令和3年1月4日(月)

年末年始の休業期間は管理事務所における事務手続き、電話問い合わせなどの業務はおこなえません。尚 墓所へのお参りは通常通り開門しておりますのでご自由にいらしてください。

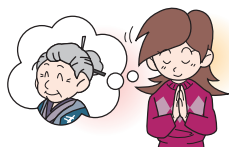


彩の都メモリアルパーク管理事務所
TEL.048-921-4194 FAX.048-921-4195

令和3年 年回表

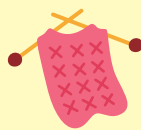
年毎の命日を祥月命日といい、年回にあたった年の、この日に行く法要が年回(年忌)法要です。この法要では亡くなった方とご縁のある方が集まり、故人を偲びながらお勤めをします。

1周忌	令和2年逝去	37回忌	昭和60年逝去
3回忌	令和元年逝去	50回忌	昭和47年逝去
7回忌	平成27年逝去	100回忌	大正11年逝去
13回忌	平成21年逝去		
17回忌	平成17年逝去		
23回忌	平成11年逝去		
27回忌	平成7年逝去		
33回忌	平成元年逝去		



西願寺 令和3年 年間行事案内

- ◎毎月25日 18時～別時念佛会
- ※1月 1日(金) 修正会(新年をむかえての法要＝お勤め)
- ◎1月 7日(木) 開運七草粥の会・七福神巡り
- ※1月25日(月) 法然上人御忌
- ◎2月 2日(火) 節分会(豆まき厄払い)
- ※2月15日(月) 涅槃会(お釈迦さまの命日)
- ◎3月17日(水) 春の彼岸会
～23日(火)
- ※4月 8日(木) 灌仏会(花まつり)
- ◎5月25日(火) 大施餓鬼会
- ◎7月13日(火) お盆会
～15日(木)
- ◎8月 8日(日) 合同新盆供養
- ◎8月13日(金) 旧盆会(13日合同盂蘭盆会法要)
～15日(日)
- ◎9月20日(月) 秋の彼岸会
～26日(日)
- ◎10月15日(金) 十三夜お月見コンサート
- ※11月23日(火) 十夜会(念仏をとなえて善根をつむ法要＝お勤め)
- ※12月 8日(水) 成道会(お釈迦さまのお悟りの日)
- ※12月25日(土) 仏名会(念仏をとなえて一年を反省する法要＝お勤め)



◎印は予定をたてて是非ご参詣ください。
※印は現在、寺だけで自主的に行っている法要＝おつとめです。

■お便り募集■

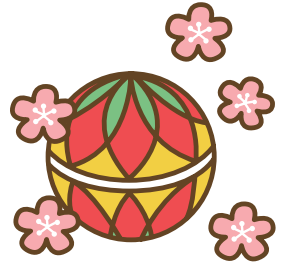
編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんか」編集部
東京都千代田区麹町二・十・三・一〇二
FAX 03 (32695) 1362 Mail: info@io-conet

■次号予告

次号は令和三年二月発行予定の「春号」です。



◆編集後記◆

今号の「さんが」は新年号。この時期、今年1年を振り返って：という話題になる事が多いのですが、あれ？ 今年って何をしたかな？ もう今年が終わってしまうの？ といつにも増して感じています。年をとると一年が早く感じるのは、子ども頃のように沢山のイベントがなく単調な生活になるからという話を聞いたことがあるのですが、正にそれだ！ と思いました。今年はオリンピックもお寺の行事も季節の行事もなく過ぎ、在宅ワークの日々…。季節の移り変わりを実感できなかったのですね。

さて、西願寺では年明けすぐの一月七日、五節句の一つ人日の七草粥の会が催されます。新しい年の豊作と無病息災に過ごせるようにとの願いが込められたこの節句、西願寺では七福神巡りのウォーキングの後に七草粥を頂くという会ですが、感染予防の対策に気を付け工夫されての開催予定だそうです。自粛生活で運動不足気味の方などはぜひお気軽にご参加ください。それでは皆さまよいお年をお迎えください。新年もよろしくお願いたします。

発行者／

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作／

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんが」編集部